

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# コマなく さんぽ



荒川区

## 幅広い層が訪れ楽しむ遊園地 「あらかわ遊園」

「あらかわ遊園」の名で親しまれている荒川区立荒川遊園は、東京23区で唯一の区営遊園地です。2022年に約30年ぶりとなる大改修を終えてリニューアルオープンし、新たな魅力を創出し、幅広い層に親しまれています。

### 約30年ぶりの大規模改修が終了

「あらかわ遊園」は1922年、煉瓦工場の跡地に民営の遊園地として誕生し、その後、一時閉園しましたが、1950年に区立遊園地として再び開園しました。園内には、大型遊具のある「のりもの広場」や、動物とふれあえる「どうぶつ広場」などがあり、子どもだけではなく、幅広い世代が楽しめる遊園地として親しまれています。

1991年の全面改修から約30年が経過したことで2018年12月より大型遊戯施設や園内建物等、各施設の大規模改修を行い、2022年4月にリニューアルオープンしました。

### 施設の多くがスケールアップ

今回のリニューアルにより、アトラクション6機種のうち5機種を新たなものに入れ替え、新設の遊具も導入しました。高さ32mから40mになった観覧車は、全28台のうち4台がスケルトン仕様に。天気の良い日は富士山を見ることもでき、360度の眺望を楽しむことができます。

ほかにも、雨の日でも楽しめる室内の遊び場「わくわくパーク」の新設や、「どうぶつ広場」の充実、飲食スペースやバリアフリーの対応、ベビールームの整備などを行いました。また、夜間開園とイルミネーションの点灯も、大きな目玉となっています。

「くじらスライダー」、「アニマルハウス」というふわふわ遊具の運行も、土日祝日限定で開始しています。こうした新たな魅力の創出により、多くの人により楽しめる施設となりました。

### 魅力が増した園の周知を目指す

同園が目指すのは、「地域に愛される遊園地」であり、小さな子どもから高齢者、カップルや友人同士など、さまざまな人々が来園しています。新たな取り組みである夜間開園とイルミネーションのさらなる周知を目指して、訪れた誰もが過ごしやすい空間づくりを意識し、今後も地域にねぎした親しみやすい施設運営に取り組んでいきます。



↑ライトアップされた観覧車とイルミネーション



↑室内遊び場「わくわくパーク」



↑せせらぎのある「水あそび広場」



↑1階に下町都電ミニ資料館がある「ふれあいハウス」



↑都電6000形車両の最後の一台を利用した「カフェ193」

### イベント

- 原則、毎月第3土曜日に、紙芝居を開催。近年珍しくなった紙芝居に触れ、その魅力を知る機会を創出します。
- 毎週日曜日には、ふれあいハウス1階の下町都電ミニ資料館にて模型電車の運転体験を実施(小学生以下対象・幼児は保護者の付き添いが必要)。精巧に作られたジオラマを楽しみながら、運転体験を行うことができます。

### あらかわ遊園

所在地 荒川区西尾久6-35-11  
開館時間 9:00 ~ 17:00(夜間開園日は20:00まで営業)  
最新の情報は、あらかわ遊園ホームページをご確認ください。  
休館日 火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29~1/1)、  
学校の春・夏・冬休み期間は無休  
入園料 大人800円(1,800円)、65歳以上400円(1,400円)、  
中学生400円(1,000円)、小学生200円(700円)、  
未就学児無料(500円)  
※()内はフリーパス 入園料+のりもの乗り放題  
アクセス 都電荒川線荒川遊園地前より徒歩3分  
お問合わせ 03-3893-6003

